

読んでみよう 解いてみよう さん太のワークシート

倉敷市児島地区の団体が、地元の方言を取り入れたラジオ体操を作りました。記事を読んで質問に答えましょう。

腕をまいからさしあげて

市策定の健康増進計画を推進する団体「児島の健康づくりを考える会」が、2019年度から準備を進めてきた。体操の途中に入る言葉を、地元の言葉に詳しい岩中正則さん(66)＝同市下津井田之浦＝を中心に、同会のメンバーと共同で方言に置き換えた。

児島版は「児島の名物は下津井だこ」と、同地区の小中学生による地域紹介に続いて「腕を振って脚を曲げ伸ばす運動は「腕とももたの運動じゃけんな」、体をねじる運動は「体をねじくろうでえ」などと、岩中さんがピアノの伴奏に合わせて方言で動き方を説明している。最後は「今日も一日、よい

児島版ラジオ体操完成

おおーけえ背伸びの運動じゃ

「腕をまいからさしあげて おおーけえ背伸びの運動じゃ」一。倉敷市児島地区の団体が、地元の方言を取り入れてラジオ体操をアレンジした「児島版ラジオ体操第一」を作った。親しみやすい言葉を使って、幅広い世代の健康作りに役立てることが狙い。普及に向けて収録したCDも作った。(浪速祐彦)



「児島版ラジオ体操第一」のCDを掲げる地元住民

方言取り入れ住民ら制作

「健康作り役立てて」

つとおひーさんに当たって頑張るんでー」で締めくくる。

CDの表面には、放課後児童クラブ・筆海児童クラブ(同市下津井)の子どもたちによるイラストをプリント。ジャケットには、同会のメンバーが瀬戸大橋のたもとで体操をしている写真などを載せた。

200枚作製し、同地区の各種団体などに配布している。同会は「児島の言葉を聞きながら、楽しく体操をして健康づくりに役立ててほしい」と呼び掛けている。

問い合わせは、市児島支所内の児島保健福祉センター・児島保健推進室(086-473-4371)。

みっかづけ、さんようしんぶん、くらしき、そうじゃけんぼん
3日付、山陽新聞倉敷・総社圏版

Q1



こしまほん、たいそう、じもと、だんたい、つく、ねら、だい、だんらく
児島版のラジオ体操を地元の団体が作った狙いを、リード(第1段落)から抜き出しましょう。

Q2



ぶんちゅう、こしまほん、たいそう、だいいち、ことば、くち、だ、じっさい、からだ、うご
文中にある「児島版ラジオ体操第一」の言葉を口に出して実際に体を動かし、どんな気持ちになったか周りの人と話しましょう。

Q3



じぶん、す、うた、じもと、ほうげん、うた
自分の好きな歌を地元の方言にアレンジして歌ってみましょう。できれば振り付けもしてみましょう。

★の数は問題の難易度を表しています。



ぼっけえ楽しそうじゃのう!